

筑波ダイカスト工業株式会社

新しい可能性にチャレンジし、さらなる飛躍を目指します



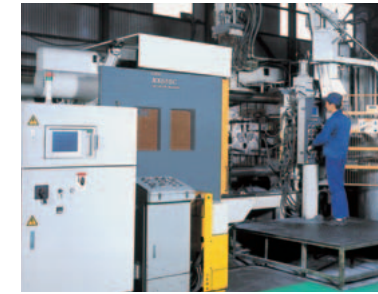
取締役会長
増淵 茂磨

「ダイカスト」が誕生して以来1世紀。当社はその一翼を担って1951年（昭和26年）に創業し、今日までお客様にご満足いただける製品づくりに邁進してまいりました。激しく変遷する時代にも柔軟に対応し、現在はIT関連部品、自動車関連部品、AV機器など幅広い分野を手がけ、特に精密ダイカストや肉薄マグネシウムダイカストの分野では、皆様から高い評価をいただいております。私たち筑波ダイカストは、50数年間の永きにわたり培ってきた信頼と実績を大きな財産として、国内4工場、海外2工場を有するグローバルな生産体制で21世紀に更なる飛躍を目指します。また、筑波グループでは、積極的なISO9000、ISO14000の認証取得・維持に努め「地球にやさしいもの作り」を合い言葉に事業活動をすすめてまいります。

筑波ダイカストを動かす5つの基本コンセプト

1. 技術力の向上
より高度なニーズに対応する、より優れたダイカスト製品の追求。
2. 高度な品質の追求
高品質な製品を、より安価に安定して提供するための企業努力の推進。
3. 付加価値の創造
完成部品の創造や新素材との複合化など、付加価値の高い製品の提供。

4. 地球環境の保全
21世紀の重要課題の一つと認識し事業活動を通して地球環境の向上に貢献。
5. 人材の育成
広い視野と柔軟な発想を持つ、チャレンジ精神あふれる人材の育成。



鋳造工程

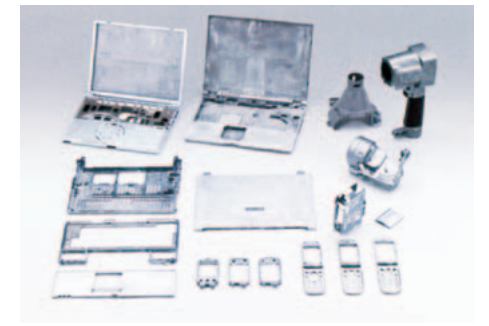


埼玉工場全景

製品紹介

マグネシウム合金製品

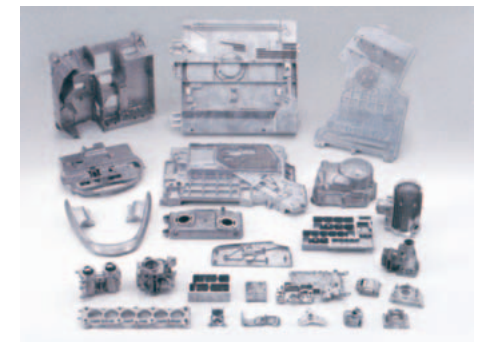
軽量で薄型製品が実現できる合金として、情報通信機器の分野で脚光を浴びているのがマグネシウム合金。プラスチックにない特徴として、優れた電磁シールド性があげられます。リサイクルが可能な点でも注目を集める素材です。当社はマグネシウム鋳造の高い技術力をもとに、携帯電話をはじめとしたIT・AV・輸送機器分野で、業界の要請にお応えしています。



マグネシウム合金製品

アルミニウム合金製品

経済的で鋳造しやすく、機械的性質に優れていることから、一般的によく用いられている合金です。用途としては、ケース、カバー類、強度部品などに用いられ、近年では精密部品分野でも使われております。当社は、その広い汎用性の中で特にハードディスクドライブのフレームで大きな生産量を誇っています。



アルミニウム合金製品

（会社概要）

筑波ダイカスト工業株式会社
〒173-0025
東京都板橋区熊野町1-5
TEL：03-3956-4165
FAX：03-3956-4166
設立：昭和26年11月
資本金：4,800万円
代表者：代表取締役社長 増淵 健二
従業員数：280名

（工場）

埼玉工場（埼玉県富士見市）
遠野工場（岩手県遠野市）
宮城工場（宮城県栗原市）

事業内容：

- (1) アルミニウム、マグネシウム、亜鉛合金ダイカスト製品製造、販売（鋳造、加工、表面処理、塗装、サブアッセンブリ、等）
 - (2) ダイカスト金型設計、製作、販売
- 主要取引先：アンリツ(株)、カシオ計算機(株)、(株)共立、(株)ケーヒン、ソニー(株)グループ、(株)東芝グループ、NECグループ、日本電産(株)、日本ビクター(株)、日本無線(株)グループ、(株)日立グループ、富士写真光機(株)、富士通(株)、ペンタックス(株)グループ、松下電器産業(株)、(株)ミクニグループ他50社

ホームページアドレス：<http://www.tsukuba-dc.co.jp/>

社員のコメント

仕事を通しての達成感をあなたに！

入社してから半年以上経ち、先輩方に教わりながら日々、ダイカスト金型設計の業務に取り組んでいます。実際に金型設計をやってみると、学生の時に教わった知識は基礎でしかなく、お客様に満足してもらえる製品を作る為に、製作コストや製品の作り易さなど考えることが数多くあることを実感しました。さらに、実際のもの造りでは、いろいろな人がかかわっていて、時には他部門からもアドバイスを頂くこともあります。

そんな中で、先輩に教わりながら初めて自分の設計で作られた金型を見たとき、最も喜びを感じた瞬間でした。この達成感は働くことで初めて味わえるものです。

これから社会へ出る皆さん。働くことは楽しいことばかりではありません。辛いこともたくさんあって逃げ出したくなることもあると思います。しかし、仕事は辛いだけでなく必ずその中に、やりがいがあるはず。それを早く見つけることで働くことへの価値観も大きく変わります。皆さんも、仕事の中でやりがいを見つけてみてください。きっと楽しくなりますよ。



岩手県立
黒沢尻工業高等学校 卒
小田島 幸典